

古文ドリル：「ば」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「ば」の正体（接続で決まる）

古文の接続助詞「ば」は、**直前の活用形（未然形か已然形か）**で意味がまったく変わります。ここを取り違えると訳が逆になり、読解で大きく失点します。

用法	接続（直前の形）	訳	例
① 順接仮定条件	未然形+ば	もし～なら（まだ起きていない仮定）	降ら ば
② 順接確定条件	已然形+ば	～ので／～と（すでに・当然起こる）	降れ ば
③ 「をば」	格助詞「を」+係助詞「は」	条件の意味なし（強調）	花を ば

②已然形+ばは、さらに3つの訳を文脈で見分けます。

- (a) 原因・理由「～ので」 例：花咲け**ば**春なり（花が咲くので春だ）
- (b) 偶然条件「～と・～したところ」 例：門を開け**ば**人あり（門を開けると人がいた）
- (c) 恒常条件「～と（いつも・必ず）」 例：春になれば**ば**花咲く（春になるときまって花が咲く）

識別の鉄則

1. 意味より先に「**ばの直前の形**」を見る。これが最重要。
2. 未然形+ば → 仮定「もし～なら」。後ろに意志・推量・打消意志（む・じ・べし等）が来やすい。
3. 已然形+ば → 確定「～ので／～と」。すでに起きた事・当然の事。
4. 四段動詞は音で判断できる：直前がア段（行か・降ら）＝未然形／エ段（行け・降れ）＝已然形。
5. ただし変格活用・二段活用は形で判断（サ変＝せ／すれ、カ変＝こ／くれ、ラ変＝あら／あれ、ナ変＝死な／死ぬれ、上一＝見／見れ、上二＝起き／起くれ、下二＝受け／受くれ）。
6. 「をば」の「ば」は別物。格助詞「を」+係助詞「は」が濁音化したもので、条件の意味はない。訳は無視してよい。

🎯 解き方のコツ (試験本番で3秒)

コツ① 四段動詞は「直前の母音」で即決

- ア段+ば (書か・行か・思は・降ら) → 未然形+ば (仮定「もし～なら」)
- エ段+ば (書け・行け・思へ・降れ) → 已然形+ば (確定「～ので／～と」)

コツ② 変格・二段は「形」で覚える

- 「せば」(サ変未然)「こば」(カ変未然)「あらば」(ラ変未然)「死なば」(ナ変未然) → 仮定
- 「すれば」「くれば」「あれば」「死ぬれば」 → 確定
- 二段は「起きば (未然) / 起くれば (已然)」「受けば (未然) / 受くれば (已然)」

コツ③ 已然形+ばは「ので・と」で処理して訳を選ぶ

- 理由なら「～ので」、たまたまの発見なら「～と・～したところ」、いつもの法則なら「～と (必ず)」。

コツ④ 「をば」を見たら条件と考えない

- 「花をば」「月をば」「人をば」の「ば」は係助詞「は」。強調だけで、訳は「花を／月を／人を」と同じ。

よくある引っかけ

- 四段の已然形と命令形は同形(「行け」)。「ば」が付くのは已然形。
- 「ずは・くは」(打消・形容詞の未然形+ば相当)は**仮定**「～ないなら／～ならば」。
- 「せば～まし」「ましかば～まし」は**反実仮想**(もし～だったら…だろうに)。条件節は未然形相当。

採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎 (Q1～Q20) : /20
- 標準 (Q21～Q50) : /30
- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】基礎編 (Q1~Q20)

四段動詞中心に、未然形+ば（仮定）と已然形+ば（確定）を純粹に見分ける。

Q1. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降ら**ば**出でじ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説**：「降ら」は四段「降る」未然形（ア段）。「もし雨が降ったなら、出かけまい」。後ろに打消意志「じ」が来ており仮定にふさわしい。

Q2. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降れば出でず。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「降れ」は四段「降る」已然形（エ段）。「雨が降るので、出かけるない」。原因・理由を表す。

Q3. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

花咲か**ば**見む。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説**：「咲か」は四段「咲く」未然形（ア段）。「もし花が咲いたなら見よう」。後ろに意志「む」。

Q4. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

花咲けば春なり。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「咲け」は四段「咲く」已然形（エ段）。「花が咲くので春である」。原因・理由。

Q5. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

行か**ば**告げよ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説**：「行か」は四段「行く」未然形（ア段）。「もし行くなら告げよ」。後ろに命令「告げよ」。

Q6. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

行けば人あり。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） 解説：「行け」は四段「行く」已然形（エ段）。「行ったところ、人がいた」。たまたまの発見。

Q7. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

思はば言へ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） 解説：「思は」は四段「思ふ」未然形（ア段）。「もし思うなら言え」。後ろに命令。

Q8. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

思へば悲し。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） 解説：「思へ」は四段「思ふ」已然形（エ段）。「思うので悲しい」。原因・理由。

Q9. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

風吹かば散りなむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） 解説：「吹か」は四段「吹く」未然形（ア段）。「もし風が吹いたら散ってしまうだろう」。後ろに推量「なむ」。

Q10. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

風吹けば散る。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） 解説：「吹け」は四段「吹く」已然形（エ段）。「風が吹くと（いつも）散る」。自然の法則を表す恒常条件。

Q11. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

待たば来む。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「待た」は四段「待つ」未然形（ア段）。「もし待つなら来よう」。後ろに意志「む」。

Q12. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

待て**ば**来たる。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「待て」は四段「待つ」已然形（エ段）。「待っていると（待ったところ）やって来た」。

Q13. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

聞か**ば**驚かむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「聞か」は四段「聞く」未然形（ア段）。「もし聞いたなら驚くだろう」。後ろに推量「む」。

Q14. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

聞け**ば**あはれなり。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「聞け」は四段「聞く」已然形（エ段）。「聞くのでしみじみと趣深い」。原因・理由。

Q15. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

散ら**ば**惜しからむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「散ら」は四段「散る」未然形（ア段）。「もし散ったなら惜しいだろう」。後ろに推量「む」。

Q16. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

春来れば花咲く。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「来れ」はカ変「来」已然形。「春が来ると（いつも）花が咲く」。自然の習わしを表す恒常条件。

Q17. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

命**あらば**また会はむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「あら」はラ変「あり」未然形。「もし命があるなら、また会おう」。後ろに意志「む」。

Q18. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

命**あれば**頼もし。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「あれ」はラ変「あり」已然形。「命があるので心強い」。原因・理由。

Q19. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

死**なば**もろともに。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「死な」はナ変「死ぬ」未然形。「もし死ぬなら一緒に」。

Q20. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

日暮る**れば**帰る。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「暮るれ」は下二段「暮る」已然形。「日が暮れると（いつも）帰る」。習慣を表す恒常条件。

【第2部】 標準編（Q21～Q50）

已然形+ばの3つの訳（原因理由・偶然条件・恒常条件）を文脈で訳し分ける問題を中心に。

Q21. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

雪降**れば**道見えず。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「降れ」は四段已然形。「雪が降るので道が見えない」。理由を表す。

Q22. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

戸を開くれば月さし入る。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「開くれ」は下二段「開く」已然形。「戸を開けると月の光がさし込んだ」。たまたまの発見。

Q23. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

秋来れば虫鳴く。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「来れ」はカ変已然形。「秋が来ると（いつも）虫が鳴く」。自然の習わし。

Q24. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

病重ければ起きも上がらず。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「重けれ」は形容詞「重し」已然形。「病が重いので起き上がることもできない」。理由。

Q25. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

山路を行けば滝あり。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「行け」は四段已然形。「山道を行くと滝があった」。進んだところ偶然見つけた発見。

Q26. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

月いづれば影さやけし。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「いづれ」は下二段「出づ」已然形。「月が出ると（いつも）光が澄んで明るい」。一般的事実。

Q27. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

風冷たければ袖寒し。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「冷たけれ」は形容詞「冷たし」已然形。「風が冷たいので袖が寒い」。理由。

Q28. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

門に立てれば人出で来。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「立てれ」は四段「立つ」已然形+完了「り」已然形。「門に立っていると人が出てきた」。発見。

Q29. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

年暮るれば雪降る。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「暮るれ」は下二段已然形。「年が暮れると（いつも）雪が降る」。季節の習わし。

Q30. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

涙落つれば文字も見えず。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「落つれ」は上二段「落つ」已然形。「涙が落ちるので文字も見えない」。理由。

Q31. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

春になれば訪ね来む。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「なら」は四段「なる」未然形。「もし春になったら訪ねて来よう」。後ろに意志「む」。

Q32. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

春になれば花咲く。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「なれ」は四段「なる」已然形。「春になると（きまって）花が咲く」。恒常条件。

Q33. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨やま**ば**帰らむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「やま」は四段「やむ」未然形。「もし雨がやんだなら帰ろう」。後ろに意志「む」。

Q34. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

雨やめ**ば**出でぬ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「やめ」は四段「やむ」已然形。「雨がやんだので出かけた」。理由とも取れるが、「やんだところで」の偶然・きっかけの流れ。「ぬ」は完了。

Q35. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

君来**ば**待たむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「来（こ）」はカ変「来」未然形。「もしあなたが来るなら待とう」。後ろに意志「む」。カ変未然形は「こ」。

Q36. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

君来**れば**うれし。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「来れ」はカ変已然形。「あなたが来るのでうれしい」。理由。カ変已然形は「くれ」。

Q37. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

文見**ば**返事せむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「見」は上一段「見る」未然形。「もし手紙を見たなら返事をしよう」。上一段未然形は「見」。後ろに意志「む」。

Q38. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

文見**れば**涙落つ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「見れ」は上一段「見る」已然形。「手紙を見ると涙が落ちた」。見たところで起こった発見的な流れ。

Q39. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降ら**ば**いかにせむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説：**「降ら」は四段未然形。「もし雨が降ったならどうしようか」。後ろに意志・推量「せむ」。

Q40. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

鐘鳴れば人集まる。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「鳴れ」は四段「鳴る」已然形。「鐘が鳴ると（いつも）人が集まる」。習慣的事実。

Q41. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

灯火近づくれ**ば**虫寄る。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「近づくれ」は下二段「近づく」已然形。「灯火が近づくと（いつも）虫が寄る」。一般的事実。

Q42. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

命長から**ば**恥多し。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説：**「長から」は形容詞「長し」未然形（カリ活用「長から」。「もし命が長いならば恥も多い」。徒然草に通じる教訓的な仮定。

Q43. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

日高くなれば暑し。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「なれ」は四段「なる」已然形。「日が高くなったので暑い」。理由。

Q44. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

人間は**ば**何と答へむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「問は」は四段「問ふ」未然形。「もし人が尋ねたなら何と答えよう」。後ろに意志・推量「む」。

Q45. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

人間へ**ば**ありのままに語る。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「問へ」は四段「問ふ」已然形。「人が尋ねると（いつも）ありのままに語る」。習慣。

Q46. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

川を渡れば**ば**里に出づ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「渡れ」は四段「渡る」已然形。「川を渡ると里に出た」。渡ったところで出た発見。

Q47. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

心あ**らば**問へかし。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「あら」はラ変「あり」未然形。「もし思いやりの心があるなら尋ねてほしい」。後ろに願望・命令「問へかし」。

Q48. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

思ひ出づれば**ば**今も悲し。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「出づれ」は下二段「出づ」已然形（思ひ出づ）。「思い出すので今も悲しい」。理由。

Q49. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降ら**ば**降れ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「降ら」は四段未然形。「もし降るなら降れ（降るなら降ればよい）」。後ろの「降れ」は命令形で放任を表す。前の「降らば」は仮定。

Q50. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

時来れば花おのづから開く。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「来れ」はカ変已然形。「時が来ると（自然と）花が開く」。自然の道理を表す恒常条件。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

変格・二段活用の見分け、「ずは・くは」、「をば」、紛らわしい識別を実戦的に。

Q51. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

花をば惜しむ。

答え：「をば」の「ば」＝係助詞「は」（接続助詞「ば」ではない） **解説：**「をば」は格助詞「を」＋係助詞「は」が濁音化した形。条件の意味はなく、強調するだけ。「花を（とりわけ）惜しむ」。訳は「花を惜しむ」と同じ。

Q52. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

月をば見ず。

答え：「をば」の「ば」＝係助詞「は」（接続助詞「ば」ではない） **解説：**「をば」は格助詞「を」＋係助詞「は」。「月を（は）見ない」。条件ではなく強調。

Q53. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降らずは出でむ。

答え：未然形（打消「ず」）+ば相当（順接仮定条件） **解説：**「ずは」は打消「ず」の未然形に接続する仮定で「もし～ないなら」。「もし雨が降らないなら出かけよう」。「ずは」は清音でも仮定を表す。

Q54. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

名を惜しま**ば**退くな。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「惜しま」は四段「惜しむ」未然形。「もし名誉を惜しむなら退くな」。後ろに禁止「な」。

Q55. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

すればかなふ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「すれ」はサ変「す」已然形。「(そう)すると(いつも)かなう」。サ変已然形は「すれ」。

Q56. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

せばいかならむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「せ」はサ変「す」未然形。「もし(そう)したならどうなるだろう」。サ変未然形は「せ」。後ろに推量「む」。

Q57. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

起き**ば**告げよ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「起き」は上二段「起く」未然形。「もし起きたなら告げよ」。上二段未然形はi段「起き」。後ろに命令。

Q58. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

起くれ**ば**夜明けたり。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「起くれ」は上二段「起く」已然形。「起きると夜が明けていた」。起きたところでの発見。

Q59. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

受け**ば**返さむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「受け」は下二段「受く」未然形（e段）。「もし受け取るなら返そう」。後ろに意志「む」。

Q60. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

受くれば喜ぶ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「受くれ」は下二段「受く」已然形。「受け取ると（いつも）喜ぶ」。習慣。

Q61. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

死なば死ね。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「死な」はナ変「死ぬ」未然形。「もし死ぬなら死ね（死ぬならそれでよい）」。後ろの「死ね」は命令形で放任。

Q62. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

死ぬれば皆悲しむ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「死ぬれ」はナ変「死ぬ」已然形。「死ぬと（だれもが）皆悲しむ」。一般的事実。

Q63. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

来（こ）ばいかに。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「来（こ）」はカ変未然形。「もし来たならどうしよう」。カ変未然形は「こ」。

Q64. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

見ずはあらい。

答え：未然形（打消「ず」）+ば相当（順接仮定条件） **解説：**「ずは」は打消の未然形に付く仮定で「もし～ないなら」。「もし見ないなら、（そのままでは）あるまい」。

Q65. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

数多かれ**ば**選びがたし。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「多かれ」は形容詞「多し」已然形（カリ活用「多かれ」。「数が多いので選びにくい」。原因・理由。

Q66. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

心づきなく**は**見ゆまじ。

答え：未然形相当（形容詞「く」）+ば相当（順接仮定条件） **解説：**「くは」は形容詞の連用形「く」に付いて仮定「もし～ならば」を表す。「もし気に入くないようなら、見るまい」。「くは」は清音でも仮定。

Q67. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

風吹けば波立つ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「吹け」は四段已然形。「風が吹くと（いつも）波が立つ」。自然の法則。

Q68. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

露しげく**は**袖濡れむ。

答え：未然形相当（形容詞「く」）+ば相当（順接仮定条件） **解説：**「しげくは」は形容詞「しげし」連用形「しげく」+仮定の「は」。「もし露が多いようなら袖が濡れるだろう」。後ろに推量「む」。

Q69. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

我あ**ら**ば守らむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「あら」はラ変「あり」未然形。「もし私がいるなら守ろう」。後ろに意志「む」。

Q70. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

我あ**れ**ば安し。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「あれ」はラ変「あり」已然形。「私がいるので安心だ」。理由。

Q71. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

蹴**ば**痛からむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「蹴」は下一段「蹴る」未然形。「もし蹴ったなら痛いだろう」。下一段未然形は「蹴」。後ろに推量「む」。

Q72. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

蹴**れば**転ぶ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「蹴れ」は下一段「蹴る」已然形。「蹴ると（いつも）転ぶ」。一般的事実。

Q73. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

我を**ば**頼め。

答え：「をば」の「ば」=係助詞「は」（接続助詞「ば」ではない） **解説：**「をば」は格助詞「を」+係助詞「は」。「私を（こそ）頼りにせよ」。条件ではなく強調。

Q74. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

鳥鳴**けば**夜明く。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「鳴け」は四段「鳴く」已然形。「鳥が鳴くと（きまって）夜が明ける」。自然の習わし。

Q75. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

行**かば**行け。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「行か」は四段未然形。「行くなら行け（行きたいなら行けばよい）」。後ろの「行け」は命令形で放任。前の「行かば」が仮定。

Q76. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

涙の川渡れば袖濡る。

答え：已然形+ば（順接確定条件・偶然条件） **解説：**「渡れ」は四段「渡る」已然形。「(涙の) 川を渡ると袖が濡れる」。渡ったところでの結果。

Q77. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

世の中を厭はば山に入れ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「厭は」は四段「厭ふ」未然形。「もし世の中を嫌うなら山に入れ」。後ろに命令。

Q78. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

世を厭へば心安し。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「厭へ」は四段「厭ふ」已然形。「世を嫌う（出家する）ので心が安らかだ」。理由。

Q79. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

言はば言へ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「言は」は四段「言ふ」未然形。「言うなら言え（言いたいなら言えばよい）」。後ろの「言へ」は命令形で放任。前の「言はば」が仮定。

Q80. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

雪消ゆれば草青む。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「消ゆれ」は下二段「消ゆ」已然形。「雪が消えると（きまって）草が青々とする」。季節の道理。

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

反実仮想（せば〜まし）、有名出典、係り結びとの複合など実戦レベルで総仕上げ。

Q81. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし。(古今集・在原業平)

答え：未然形+ば（順接仮定条件=反実仮想） **解説：**「せ」は過去「き」の未然形。「せば〜まし」で反実仮想「もし〜だったら…だろうに」。「もし世の中に全く桜がなかったなら、春の心はのどかだろうに」。実際は桜があるので心が落ち着かない、という反実。

Q82. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

鏡に色・形あらば映らじを。(徒然草)

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「あら」はラ変「あり」未然形。「もし鏡に色や形があったなら映るまいに」。仮定。後ろに打消推量「じ」。

Q83. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

花の散るをば惜しむ。

答え：「をば」の「ば」=係助詞「は」（接続助詞「ば」ではない） **解説：**「散るを+ば」は準体法「散るの（散ることを）+係助詞「は」が濁音化した形。「花が散るのを（とりわけ）惜しむ」。条件の「ば」ではない。

Q84. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

心あらばぬしに告げてよ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「あら」はラ変未然形。「もし思いやりの心があるなら主人に告げてくれ」。後ろに願望・命令。

Q85. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

名にし負はばいざ言問はむ。(伊勢物語)

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「負は」は四段「負ふ」未然形。「(都鳥という)名を持っているなら、さあ尋ねよう」。仮定。後ろに意志「む」。

Q86. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

月見ればちぢにもものこそ悲しけれ。(古今集・大江千里)

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「見れ」は上一段「見る」已然形。「月を見るとさまざまに物悲しい」。理由・きっかけ。結びは係助詞「こそ」を受けて已然形「悲しけれ」。

Q87. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

散らば散れ風な吹きそ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「散ら」は四段未然形。「散るなら散れ（が）、風よ吹くな」。「散らば散れ」は仮定+放任の命令。後ろの「な吹きそ」は禁止。

Q88. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かば今帰り来む。(古今集・在原行平)

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「聞か」は四段「聞く」未然形。「(あなたが私を)待つと聞いたなら、すぐに帰って来よう」。仮定。後ろに意志「む」。「まつ」は「松」と「待つ」の掛詞。

Q89. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

思ひつつ寝ればや人の見えつらむ。(古今集・小野小町)

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「寝れ」は下二段「寝（ぬ）」已然形。「(恋しく)思いながら寝たので、あの人が(夢に)見えたのだろうか」。理由。「や」は係助詞で疑問、結びは「らむ」。

Q90. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

いざ給へ。雨降らぬさきに帰らばや。

答え：終助詞「ばや」の一部（接続助詞「ば」ではない） **解説：**「帰らばや」の「ばや」は未然形接続の願望の終助詞で「～たい」。「帰ら」は四段未然形。「雨が降らないうちに帰りたい」。仮定の「ば」と違い、後ろに「や」が付いて自己願望を表す。直前が未然形である点は共通なので注意。

Q91. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

命あればこそ、かかる世にも会へ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「あれ」はラ変已然形。「命があるからこそ、このような世にも巡り会える」。「ばこそ」で理由を強調。

Q92. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

我死なば焼くな埋むな。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「死な」はナ変未然形。「もし私が死んだなら、焼くな埋めるな」。仮定。後ろに禁止「な～そ」相当の命令。

Q93. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

雨の降れば、え出で立たず。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「降れ」は四段已然形。「雨が降るので、出発できない」。理由。「え～ず」は不可能。

Q94. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

あらばあれ、なくてもありなむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「あら」はラ変未然形。「あるならあれ（あってもよい）、なくても済むだろう」。「あらばあれ」は仮定+放任。

Q95. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

玉なればこそ光れ。

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「なれ」は断定「なり」已然形。「玉であるからこそ光る」。「ばこそ」で理由を強調。断定「なり」の已然形「なれ」に接続。

Q96. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

我にもし羽あらば飛びて行かまし。

答え：未然形+ば（順接仮定条件＝反実仮想） **解説：**「あら」はラ変未然形。「もし私に羽があったなら飛んで行くだろうに」。「ば～まし」で反実仮想。実際は羽がないので行けない。

Q97. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

鶏鳴けば東白む。

答え：已然形+ば（順接確定条件・恒常条件） **解説：**「鳴け」は四段已然形。「鶏が鳴くと（きまつて）東の空が白む」。自然の道理。

Q98. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

心にもあらで憂き世にながらへば恋しかるべき夜半の月かな。（後拾遺集・三条院）

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「ながらへ」は下二段「ながらふ」未然形。「もし不本意ながらこのつらい世に生き長らえたなら、恋しく思い出されるにちがいない、今宵の月であるよ」。仮定。後ろに当然「べき」。

Q99. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬと思へば。（古今集・源宗于）

答え：已然形+ば（順接確定条件・原因理由） **解説：**「思へ」は四段「思ふ」已然形。「人の訪れも草も枯れてしまうと思うので（いっそう寂しい）」。理由。「かれ」は「離れ」と「枯れ」の掛詞。

Q100. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

逢坂の関を越えば告げむ。

答え：未然形+ば（順接仮定条件） **解説：**「越え」は下二段「越ゆ」未然形。「もし逢坂の関を越えたなら告げよう」。仮定。後ろに意志「む」。下二段未然形はe段「越え」。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「ば」の直前の活用形をもう一度確認しましょう。

- **未然形+ば**…仮定「もし～なら」。四段はア段（降ら・行か）、変格はせ／こ／あら／死な、二段はi段・e段（起き・受け・越え）、上一は見、下一は蹴。後ろに意志・推量・命令・打消意志が来やすい。

- **已然形+ば**…確定「〜ので／〜と」。四段はエ段（降れ・行け）、変格はすれ／くれ／あれ／死ぬれ、二段は〜くれ／〜ゆれ。①原因理由「ので」②偶然「〜と・〜したところ」③恒常「〜と（いつも）」を文脈で訳し分ける。
 - 「**をば**」…格助詞「を」＋係助詞「は」。条件ではなく強調。訳は無視してよい。
 - 「**ずは・くは**」…未然形相当に付く仮定「もし〜ないなら／〜ようなら」。
 - 「**せば〜まし**」「**ば〜まし**」…反実仮想「もし〜だったら…だろうに」。
- 「ば」を見たら、意味より先に**直前の形**。この習慣が入試本番の安定した得点につながります。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「に」「なり」「の」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

誰でも古典塾 (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太